

NPOと市民をつなぐ

発行者：西宮市・NPO等公益活動市民団体啓発事業実行委員会  
発行日：平成30年3月1日

# みやしるべ

vol.4

March 2018

**特集**

みやたんと対談 /

**「西宮のNPOは楽しいね！」**

水色の妖精みやたんが

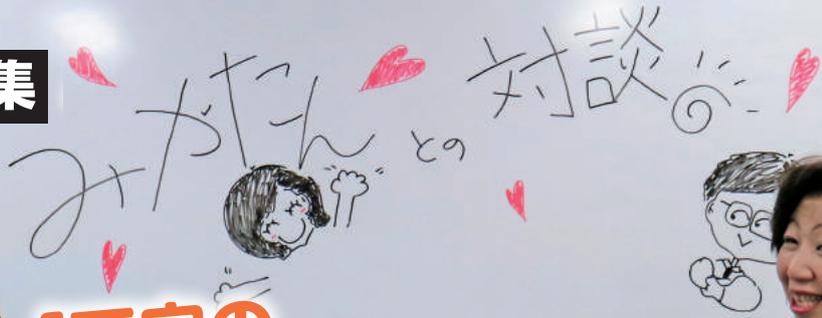
NPOの宝物を探しにきました!



## NPO訪問記

- 海浜の自然環境を守る会 ————— P3
- 支援の会ひまわり ————— P4
- 障害者生活支援センター遊び雲 — P5
- TOPO ————— P6
- NiCCL西宮暮らしやすい地域をめざす会 — P7
- 日越親善協会 ————— P8
- 阪神文化財建造物研究会 ————— P9
- 武庫川スポーツクラブ ————— P10

西宮市観光キャラクター みやたん



# 「西宮のNPOは楽しいね！」

## 「みやたんに西宮のNPOのこと、知ってもらいたいから何でも答えます」

お相手：NPO等公益活動市民団体啓発事業実行委員会  
委員長 東 朋子さん



東 こんにちは！みやたん！今日  
はみやたんにNPOのことをたく  
さん知って欲しいから、わからな  
いことがあれば何でも聞いてね！  
**みやたん** こんにちは！東さん！  
東さんはNPOで活動している  
んだってね。NPOのこと教え  
てー！

(2017年12月現在)

**みやたん** へえ、NPOってたく  
さんあるんだね。それぞれどん  
な活動をしているの？

東 NPO法人は、20の活動分野  
が決まっている、該当しないと特  
定非営利活動とはみなされない  
の。全部は紹介できないけど「保  
健、医療又は福祉の増進を図る活  
動」や「子どもの健全育成を図る  
活動」、「まちづくりの推進を図  
る活動」や「地域安全活動」もある  
わ。NPOは様々な特定非営利  
活動をカバーしているから、みや  
たんも関係するいろんな分野で  
活躍しているよ。

**みやたん** さっき東さんが言っ  
ていた「非営利」ってなあに？

東 簡単に言うと「営利を目的と  
しない」ということだけど、「営  
利」というのは「利益を追求し、  
団体の利益を構成員が分配する  
こと」という意味があるの。大事  
なことは、この「分配」というこ  
ろにあって、「非営利」というのは  
「利益を上げてもその利益を構  
成員(会員など)に分配しない」と  
いうことなの。団体が対価を得  
て、売上を上げ、そこから経費(給  
与等も含む)を差し引いて残った  
利益を団体の構成員に分配しな  
いなら、それは非営利団体になる  
のよ。「NPOが収益事業をして  
はダメなんじゃない？」とか「給  
与や謝金を払っちゃいけないん  
じゃないの？」とか言われること



が多いけど、それは「非営利」とい  
う言葉をよく理解していないか  
ら起こる誤解なわけ。

**みやたん** NPOで活動している  
人たちはみんなボランティアな  
の？どんなやりがいがあるのか  
なあ？

東 もちろんNPOからお給料  
をもらっている人はたくさんい  
るわよ。そしてボランティアさ  
んもたくさんいるわ。働き方は  
様々で、今いちばん多様な働き  
方を受け入れているのはNPO  
じゃないかなあ。まだ新しい組  
織だから、みんなの話合いで関  
わり方を決めることが多いの。  
だから働きやすいし、関わりやす  
いのよ。そんなNPOのみんな  
は、関わる皆さんからの「感謝の  
気持ちや言葉がいちばんうれし  
いの。皆さんのハッピーをお手  
伝いできていることが一番のや  
りがいだと思うわ。だから皆さ  
んから「ありがとう」って言われ  
るともっと頑張るうって思うの  
よ。それにいろんな人と出会え  
て、いろんな考え方ができるよ

になるのもやりがいに繋がって  
いるんだよね。

**みやたん** NPOの活動って市役  
所の仕事と一緒になの？

**東**「市民の幸せのために」とい  
点では一緒だよ。市役所の皆さ  
んでは、手の届かないところをき  
め細やかに、スピーディに対応す  
るのがNPOの仕事なの。NP  
Oは社会的な使命を達成するこ  
とを目的に設立されているのよ。

**みやたん** ふん、NPOの人た  
ちは社会に役立つ活動をしてい  
るんだね。

西宮に住んでいるみんなはその  
こと知っているのかな？

**東**それが、まだまだ知られてい  
ないの。私は今回西宮市内に主  
たる事務所を置いている169  
すべてのNPO法人を9月〜11  
月までの3か月をかけて個別訪  
問してきたけれど、西宮に住ん  
でいるみんなにもっともっと知っ  
てもらうためには、NPO法人  
から情報発信する努力ももっと  
もっと必要だと感じたわ。

**みやたん** 169ヶ所、全部行っ  
てきたの?!東さん、すご〜い!  
行ってみたら、どうだった?

**東**日々の活動でとても忙しいか  
ら、なかなか情報発信まで手が回  
らない団体や、事務所が移転して  
しまっていたり、既に活動をして  
いなかったりする団体もあった  
けれど、そもそもNPOを始めよ  
う!と思う皆さんには社会課題

を解決したいという熱い想いと  
人的ネットワークが備わってい  
るから、とても頼りがいがある!  
ということがわかったわ!それ  
に、お会いするとみんなその分野  
の専門家!困ったことがあつた  
ら、相談ののってもらえる団体も  
多かったのよ!

**みやたん** 東さんの話を聞いて、  
もっとNPOのことが知りたく  
なってきた。どうやったら知る  
ことができるの?

**東**実は法人格を持つNPO(NP  
O法人)は、みんなに知ってもら  
うために、お金の流れやどのような  
活動をしているのかを広く情報公  
開しているのよ。知ってた?西宮  
市内だけではなく、全国のNPO  
法人で興味がある団体があつた  
ら、「内閣府NPO法人ポータル  
サイト」でネット検索するとその  
団体情報をいつでも見ることがで  
きるようになってるよ。

**みやたん** へ〜え、他にもなにか  
西宮市内のNPOを知る方法は  
あるの?

**東**もちろん!!西宮市では「NPO  
と行政との協働会議」のNPO部  
会メンバーの有志によって結成  
された「NPO等公益活動市民団  
体啓発事業実行委員会」という組  
織があつて、市役所と協働して、  
毎年、活動を広く市民の皆さんに  
知ってもらうための「NPOフェ  
スティバル」の開催(3月)や広報  
誌「NPOと市民をつなぐ」み

やするべ」の発行をしているの。

**みやたん** NPOフェスティバル  
はみやたんも毎年行って参加し  
てるよ。次回も楽しみにしてい  
るね!

この「みやするべ」も参考になる  
よね。はどこかで見ることで  
きるの?

**東**広報誌「みやするべ」は、「西  
宮市」と「西宮市市民交流セン  
ター」のホームページでも見るこ  
とができるよ。NPOについて  
少しでもわからないことがあつ  
たら、ぜひ、「西宮市市民交流セ  
ンター」へ気軽に問い合わせても  
らいたいな。「NPOフェスティ  
バル」や広報誌「みやするべ」で気  
になるNPOがあつたら、連絡を  
取ってから訪ねてみるのもいい  
かも!!

**みやたん** NPOって何か楽しそ  
う!今度実際に行ってみるね。東  
さん、今日はどうもありがとう!  
**東**こちらこそ、ありがとう。み  
やたん!これでみやたんもNP  
Oの応援団だね!



# 甲子園浜を歴史とともに残しつつける

人と自然の共生・海浜の環境保全の普及啓発を目的に2004年1月設立



NPO 法人  
**海浜の自然環境を守る会**  
理事長 大西 夏江

**連絡先**

〒663-8143 西宮市枝川町19-10  
西宮市甲子園浜自然環境センター内  
甲子園地区埋立事業対策協議会気付  
TEL・FAX: 0798-49-1403 (事務局 岸川)  
Mail: info@npo-koshienhama.com  
URL: http://www.npo-koshienhama.com/



明治時代、甲子園浜が漁場や海水浴場だったことをご存知でしょうか？ 時代につれて姿を変えてきた甲子園浜の保全活動をされているのが「海浜の自然環境を守る会」です。理事長大西さん、事務局長岸川さんにお話を伺いました。

— 原点は住民運動 —  
兵庫県が甲子園浜埋立計画を発表したのは昭和46年。南甲子園小学校のPTAのお母さんたちが、子どもの教育環境と地域の住環境を守るために立ち上がりました。地域の住民運動に発展した昭和50年頃、大西さんもPTA活動をされていて、それが現在のNPO活動の原点となります。

PTA発信の住民運動は珍しいと思いますが、教師や

PTA発信の住民運動は珍しいと思いますが、教師や

んだなあと思いました。

自治会にも広がり、昭和52年行政訴訟原告団結集、浜の生態調査・公判傍聴・請願など様々な粘り強い運動の結果、昭和57年に和解成立しました。「住民運動って過激なイメージがあるけど、お母さんたちで楽しくやってきたのよ。市長さんに話を聞いてほしいと思って待っていて、しんどくて廊下に座ったら、記者に事情をきかれ、『座り込み』と取り上げられ、そこから子どもが在宅する夏休みを除き100日間続きました。住民だけでなく弁護士、研究者まで理解して下さり運動が広がって本当にありがたかった」という大西さん。「楽しみながら」というところが、この団体の肝なんだなあと思いました。



— NPOとして活動展開 —  
その頃の仲間が中心となって、人と海浜と自然について理解を深めるための普及啓発活動を継続され、平成16年NPO法人となりました。年に数回の海浜清掃は、自治会へ呼びかけることで、毎回100名ほどが参加。企業の協力もあるそうです。日常的な植生調査や「大阪湾生き物調査」にも毎年参加されています。小学校の環境学習への協力、調査結果や浜にまつわる作品の展示会などもされていて、本当に地域密着型のNPOだと感じました。

— 今後の展望 —  
「甲子園浜は残ったのではなく『残した』のだから、この活動をつないでいくことが、最重要課題」と語られましたが、若い世代に引き継ぐために、これからも子どもたちの活動のみならず、社会問題として認識してもらえよう地域や企業への働きかけを続けていかれることと思います。

地元の多様な方々とのつながりや、甲子園浜への愛着を強く感じる事ができました。NPOのお手本なのではないでしょうか。快く取材に応じていただきありがとうございます。(訪問者 廣田)

NPO

訪問記

# 透析患者を送迎する 唯一のNPO

## NPO法人 支援の会ひまわり

理事長 小泉 邦昭

高齢化する透析患者の通院支援に応えようとして発足。2002年にNPO法人に。

連絡先

〒663-8215 西宮市今津水波町1-7  
ドミトリー高木1F  
TEL: 0798-39-0871  
FAX: 0798-36-9732  
Mail: sien-himawari@aroma.ocn.ne.jp  
HP: [支援の会ひまわり](#) [検索](#)



阪神・阪急今津駅の改札から徒歩一分ぐらいという便利な場所にある「支援の会ひまわり」の事務所をお訪ねし理事長の小泉邦昭さんと理事で事務局長の青砥厚二さんからお話をお聞きしました。

### ―発足の経緯

透析患者の会である兵庫腎友会の仲間では「透析患者は高齢化に伴い自力での通院が困難になってくるが、この通院支援をする機関が必要である」という話し合いが続いていました。

そして平成九年に「要介護透析患者を支援する会」が発足し翌年の平成十年より「徒歩や自家用車」で通院支援を開始、その後、兵庫腎友会阪神ブロックや日本財団等の応援を得て専用車での送迎が可能となり、平成十四年にNPO法人化したそうです。

### ―主な活動の内容

「支援の会ひまわり」は、通院支援で提携している施設（現時点では、尼崎市の永仁会病院・北永仁会クリニック・宝塚市の宝塚病院・くきクリニック・川西市の協立病院・第二協立病院）への通院送迎を行い、送迎利用対象者は前記送迎可能施設へ通院しておられ、NPO法人兵庫腎友会及びNPO法人



支援の会ひまわりの会員に  
なられた方です。

自宅から施設までの送迎  
料金（距離によって異なる）  
が必要です。

ただ、一回往復の平均金額  
は約千円程度です。個人  
負担は少ないようです。

併せて、通院等に「介護」が  
必要となった利用者には介  
護保険でのサービスとして  
「通院等乗降介助」「生活援  
助」「身体介護」のサービ  
スを提供しています。

### ―率直な疑問への回答

今回訪問するにあたり事  
前にホームページで概要を  
見てみましたが、送迎サービ  
ス提供の対象となっている  
病院が尼崎市・宝塚市・川  
西市等の所在地で西宮市が何  
故か抜け落ちており原因を

知りたかったのでお聞きし  
ました。

送迎サービスを円滑に進  
めるためには「送迎車」の置  
き場所やその他関連する事  
項について病院・医院側の  
協力が必要ですが、西宮市で  
は個々に自前での送迎をし  
ている場合が多いというよ  
うなことが主な原因のよう  
です。

### ―課題と皆様との連携

慢性腎臓病の方は年々増  
加し全国で約千三百万人お  
られると推定されています  
が自覚症状のないまま次第  
に進行して透析が必要な状  
態になってしまいがちです。  
当法人では予防のために講  
習会を適宜開催しています  
ものの理解は進み難しい面も  
あります。

また、透析のための送迎  
には専用車の「ドライバー」  
や院内での「見守り」や、  
「ちょっとした手助け」をす  
る方が必要です。

有償ボランティアとしてご  
協力をいただける方のお申し  
出がいただけるのと在り難いと  
呼びかけられています。

阪神地域で透析患者送迎  
を専用としている唯一の団体  
だけに課題の解決に向けて理  
解者の輪が広がることを期待  
しています。（訪問者 立田）

**NPO****訪問記**

# 障害者がイキイキと暮らせる 社会をめざして活動



## 遊び雲

### NPO 法人 障害者生活支援センター遊び雲

理事長 福永 年久

連絡先

〒662-0862 兵庫県西宮市青木町12-5

TEL: 0798-75-6340

FAX: 0798-75-6341

Mail: asobigumo@email.plala.or.jp

URL: http://asobigumo.net/

2003年支援費制度をきっかけに西宮市で介護派遣事業所 NPO 法人「遊び雲」を設立し、居宅介護、家事援助、身体介護、外出支援などを通して、障害者がイキイキと暮らせる社会をめざして活動しています。



— NPO 法人設立まで  
NPO 法人設立までの経緯を代表の福永さんにお伺いしました。福永さんは脳性マヒの障害者。1976年姫路で自立生活を始められ、西宮に転居されてから1988年に「自然食品店 きんとーん」を中殿町に、1989年に「きんとーん」作業所を上之町にオープンされました。「きんとーん」の名は西遊記の「キントウ」からきており、障害があってもどこでも自由に行ける事ができるようにとの願いからネーミングされました。「遊び雲」も同じ由来だそうです。

その後、福永さんたちの活動を阪神淡路大震災がお

そいました。2カ所の作業所も全半壊。仲間を失ったなか、炊き出しや引っ越し・入浴支援に走り回られ、脳梗塞で寝たきりになられた時期もあったそうです。

その後、甲子園口に仮設の喫茶ギャラリー「遊び雲」を開設。その後、越水町に移転し、福祉制度の転換を機に、障害者生活支援センター「遊び雲」として2002年にNPO法人に認証されました。

— 現在の活動

NPO 法人障害者生活支援センター遊び雲は、居宅介護事業・遊び雲と地域活動支援センター・きんとーん作業所の2つを中心に活動されています。

遊び雲ではヘルパー約50人が登録されており居宅介護・重度訪問介護・ガイドヘルプ等のヘルパー派遣を行っておられます。

きんとーん作業所では、工程を手分けしながら軽作業やヘンプ（麻）・革の小物アクセサリーの制作をする人、居場所や活動の場として利用する人など、それぞれの障害者のニーズに応じた活動をされています。製品はイベント出店や青空マーケットで販売された



り、また作業所でミニコンサートやミニギャラリーを開催し、地域の方々と交流にも努めておられます。

— 今後の抱負

当初、制度も何もない時代、自立したい障害者がおられ、それを支援するボランティアがいて、地域での暮らしを支えていました。現在は、整備されてきた制度に流されやすい状況もありますが、初心の「障害者の自立を支援する」という立ち位置を確保していきたいとのことでした。

（訪問者 広尾）

障害者がその余暇を楽しくイキイキと過ごすことを考え、サポートするNPO。  
2017年4月設立。



# お休みの日をイキイキと過ごしたい。 ワクワクするような人と出会いたい。

JR 甲子園口駅近くに事務所を構える「NPO 法人 TOPO (トポ)」は、2017年4月に設立された新しい法人です。

主な活動として、発達障害や知的障害などのハンディキャップを持つ方々を対象にした「余暇支援」をされています。その内容は、自然の中を駆け回る里山クロスランや水泳指導、音楽、宿泊キャンプなどアクティブな要素が目立ちます。事務所内には、ハンモックやテントが置かれ、お洒落で落ち着く雰囲気がかたまっていました。さらに TOPO のサポーターと利用者がお揃いの T シャツを着て、まるで家族のように仲良く過ごされていました。

## 活動にかける想い

「18歳以上の障害者を対象に就労支援を行う団体の数と比較すると、『余暇支援』に取り組んでいる団体は非常に少ないです。どんな人でも仕事に就き始めると運動不足になってしまいがち、気晴らしが必要になりますよね。お仕事が終わった後や、

お休みの日をイキイキと過ごして欲しい、ワクワクするような人と出会って欲しい。」と代表の平井さんは語られました。

## 活動のルーツ

平井さんは当初、健常者の水泳指導をされていました。その活動が徐々に発展し、腰痛に悩む方向けの水泳指導をされた後、障害を持つ方々を対象とした水泳サークル「マントアーズ」を設立されました。水泳サークルは、現在でも事業内容の核となっており、レベル別に三段階の水泳指導をされています。なかにはパラリンピックや国体への出場が狙えるほど、レベルの高いメンバーもいらっしやるそうです。

## NPO フェスティバルに向けて

取材当日は、新しく始められた STOMP (廃材を利用した演奏) の練習をされていました。2018年3月に開催される NPO フェスティバルでのステージ演奏に向けての練習でした。メンバーとサポーター、保護者の方が手づくりの楽譜を一緒に見ながら、先生から指導を受けていました。タイミンングや楽器の音量調節に苦労しながらも、とても楽しそうに演奏されていたのが印象的でした。

## 取材で感じたこと

取材当日、理事長の平井さん

とスタッフの田中さんだけでなく、利用者の保護者の方からもお話を聞くことができました。保護者の方が語られたのは、

NPO 法人 TOPO への感謝でした。「大人の余暇の過ごし方といえば、カラオケや映画など限られた選択肢の中で考えが



ち。自然と触れ合うレクリエーションや身体を動かすスポーツができる TOPO のプログラムは、とても有意義で、感謝しています。このお話を聞き、私も余暇の過ごし方について考えさせられました。どこかありきたりな日々を送るのでなく、非日常の時間を誰かと過ごすことは、誰にとっても新しい発見を得られるイキイキとした機会なのだと感じました。NPO 法人 TOPO の今後のさらなる発展を願っています。

(訪問者 柏本)

NPO 法人  
**NiCCL 西宮暮らしやすい地域をめざす会**  
理事長 丸田 芳裕

連絡先  
〒663-8156 西宮市甲子園網引町2-11  
TEL: 0798-42-0126(森下)  
Mail: sparks@ams.odn.ne.jp  
URL: http://www1.odn.ne.jp/~adu77280/hp20/niccl-top.htm

障害者に対して地域生活支援に関する事業を行い、地域生活の質の向上に寄与することを目的として2003年12月にNPO設立。



西宮ガーデンズ東側の名神高速の北、ポツンと残った畑の前のマンションの1Fに、NPO法人NiCCL西宮暮らしやすい地域をめざす会が運営する地域活動支援センター「スパークス」があります。住みたいまちナンバーワンと言われる西宮ですが、「暮らしやすい地域をめざす」に興味を持ち、センター長の前田さんとスタッフの森下さんにお話を伺いました。

「暮らしやすい地域をめざすスパークスの案内には「こちらの病気のために日常生活のしづらさを感じておられる方たちが、ご自身の目的に合わせて過ごす場所」とあります。お二人から、我が国の心の病気に對する考え方、戦後のGHQによる指導やライシヤワー大使事件など、現在に至るこころの病気に関する歴史を教えてくださいいただきました。年齢、性別、

障害の有無、文化などの違いにかかわらず、だれもが地域社会の一員として支え合う中で、安心して暮らし、一人ひとりが持てる力を発揮して元気に活動できるユニバーサル社会をめざす世の中を、私たちがもっと知っておくべきことと感じました。

「スパークスって何?」「御苦労なお仕事ですね」とよく言われますが、日々気付けてくれる面白さがあり楽しいというお二人。取材中利用者さんとお話をする中で私も同様に気付いたことがあります。スパークスの名称は対人関係で発生する様々な出来事を火花に例えて命名したと言うことが理解できました。また「スタッフは人と人を繋ぐノリシロ。貼り合わせると見えなくなる生活のしづらさを解消した後は、必要とされなくなるのが目的」と含蓄のあるお話でした。

「多彩なプログラム  
スパークスではいろんな楽しいプログラムが用意されています。

毎日午前中は調理、取材当日午後は色を楽しむ会いわゆる大人の塗り絵。ボランティアの方により原画と色鉛筆・クレヨン・クレパスが用意され思い思いの塗り絵が始まり

ました。塗り絵は、趣味を広げる場や、思いやストレスのはき出しの場になります。日々の調理やプログラムは、生活スキルの向上、趣味や生活の楽しみの発見、生活を豊かにするなどの目的のために様々なものが行われています。

「気になった方、スパークスを訪ねてみませんか?色々なサポートがあるようです。また何かお役に立てることが見つかるかも。見学をしてみたい方、まずはご連絡を。」

(訪問者 横井)

2017年 11月 プログラム

日	月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4	
			お休み	AM 調理 PH 自主品作り ※ブランチタイム	文化の日	AM 調理 PH ミーティング	
		7	8	9	10	11	
		AM 調理 PH 自主品作り ※ブランチタイム	お休み	AM 調理 PH 私の作品展 ※委託先で展示(実演型)	AM 調理 PH 自主品作成	AM 調理 PH フリー	
		14	15	16	17	18	
		AM 調理 PH お菓子作り	お休み	AM 調理 PH ダイエット	AM 調理 PH 動物の会 (マスコットショー)	AM 調理 PH フリー	
		21	22	23	24	25	
		AM 調理 PH フードバンク	お休み	AM 調理 PH 動物の会 (マスコットショー)	AM 調理 PH ヨーヨー (交流センター体育室)	AM 調理 PH フリー 夜更の部	
		28	29	30			
		AM 調理 PH 大掃除 夜更夕食会	お休み	AM 調理 PH 色を染め会			

※スパークス自主製品の展示販売会を開催しています。  
少年期学習部へブックタイムを併に行われます。この日少し早めに昼食をいただきます。  
へ行きます。詳細はチラシにて。

# 西宮からベトナムへ 友好の架け橋を



NPO法人  
**日越親善協会**  
理事長 酒井 広徳

2016年7月NPO法人設立。  
日本とベトナムの交流を通じ、  
両国の繁栄と発展に寄与する。

連絡先

〒662-0075 西宮市南越木岩町11-12

TEL: 0798-77-4752

Mail: nichietsu.shinzen@gmail.com

URL: http://nichietsushinzen.com



「では『あれは酒の席の発言だから』という言い訳は通用しないのですか?」「日本とは違い、この国では酒の席の発言こそが本音なのだ、と認識されるのです。うーん、どうやらここは吞兵衛にはとても楽しい国のようです。」

## ―越の国とお酒

日越の「越」とは、かつて越南国とも呼ばれたベトナムのことです。「この国では何か打合せをしようとする」と「まずは乾杯だ!」となるのです。」と理事長の酒井広徳さんが笑いながら話してくれました。「ともかく酒を飲んでから、仕事の話はそれからよ。というのがベトナム流なのです。私は若いときから酒席は大歓迎で、そのおかげで人脈も広がりました。」・思わず尋ねました。「では『あれは酒の席の発言だから』という言い訳は通用しないのですか?」「日本とは違い、この国では酒の席の発言こそが本音なのだ、と認識されるのです。うーん、どうやらここは吞兵衛にはとても楽しい国のようです。」

## ―設立のきっかけ

2016年にNPO法人を設立したきっかけを伺いました。それまでベトナムで事業を展開してきた酒井さんに「ベトナム政府・ベトナム総領事館から、経済交流に特化した親善協会を立ち上げて欲しい」とのご依頼があったのです。「文化や芸術、スポーツ等で交流を深める団体は多いものの、実はこの国の政府が日本に最も期待していることは経済面での交流。ベトナム人の平均年齢はなんと二十歳代後半、若く元気で勤勉な国民が多く労働力は豊富なのですが、産業を底支える技術力に乏しく、ここに両国の経済交流が求められているのです。『日本での法人設立の上でNPO法人がパブリック的にも適していたので、設立させて頂きました。』

## ―実際にどんな事業を?

では、具体的にはどんな事業活動をしているのでしょうか。「当協会では、日本企業とベトナム企業をビジネスマッチングさせるイベントやベトナムの経済、文化を知って頂くセミナー、文化交流の場としてベトナムフェスティバルなどを行っております。」それに賛同して会

## ―これからめざす目標

この質問に酒井さんは「大きなことを言いますが」と前置きして「日本とベトナムの相互的な交流を通じて、アジアの平和に貢献することをめざしています。」と語りました。「例えば西宮市の友好都市にベトナムの都市が入ることができれば、その第一歩です。」今後に注目したいNPOです。(訪問者 白石)



員となった法人・個人は現在、併せて約200名。ベトナム人の技能実習制度セミナーや両国の経営者交流会の企画推進、あるいは、日本とベトナムの伝統音楽を聴いて観て楽しむ音楽会『ベトナムフェス in 西宮』を開催し双方の交流を深めたことも事業の一つと聞きました。

# 歴史的建造物を まもり そだて つたえる

2014年9月設立。  
古き良き建造物を発見し、保存し、活用し、  
まちづくりに活かすことで発足。

連絡先  
〒662-0025 西宮市北名次町7-24  
TEL・FAX: 0798-72-3150  
Mail: m-ybun@beige.plala.or.jp  
URL: <https://www.facebook.com/hanbunken>



NPO 法人

**阪神文化財建造物研究会**

理事長 山崎 誠



「ヘリテージマネージャー」とは、地域に眠る歴史的建造物(文化遺産)を発見し、保存し、活用し、まちづくりに活かす能力を持った人達のことを言います。

阪文建の皆様は、そのHMとして、歴史的建造物を「まもり、そだて、つたえる」活動をしています。

―設立したきっかけ

1995年1月17日に発生した阪神・淡路大震災で数多くの貴重な歴史的建造物が被災し解体されたことを受けて、歴史的建造物を事前登録する登録文化制度が出来ました。そして実行登録するヘリテージマネージャー(ひょうごへりてーじまねーじゃー)が生まれ、その中の阪神間有志が集まりNPO法人阪神文化財建造物研究会(以下、阪文建)を立ち上げました。

―ヘリテージマネージャーとは？

―古き良き建造物を残すことの意味

皆が住む街の何気ない橋であつたり、トンネル、神社の鳥居、住宅などの、再び造ることのできないものは文化財建造物なのです。この文化財建造物を街や国の資産として活かす制度「文化財登録制度」を文化庁が平成8年に誕生させました。今や登録有形文化財建造物は全国で11,000件以上登録されています。

この文化財は、昔の歴史を学び向上し、繋がっていく重要な資産だと考えているのです。だからこそ、その文化財を最大限にどう活かしていくかを追求していくことが、阪文建の使命であり建造物を残す意味なのです。

―より多くの市民の皆様と繋がりが、広めていくために：

現在、西宮市や尼崎市と協働事業を行なっています。

事業内容は、広く市民の皆様向西宮・尼崎・その他阪神間の歴史を知り、現地の建造物(古民家等)を「なんとかしてこよう」という目的で見てもらい、学んでもらう「歴史建築観光サポーター育成講座」の開催をしています。阪文建は、この育成講座で産まれたサポーターの皆様が、市民と建造物の繋ぎ合わせの役割になつてもらえるこ

とを期待しています。また、うちのお医者さんと言われているホームドクターにも同行し素人目線で文化財のあり方を見てもらうことも、今後の展望として必要と考えています。



―今後展開していきたい目標

今までは、主に行政との連携で事業を進めていました。これからは11,000件以上ある登録有形文化財建造物がそれぞれ輝きながら繋がりをもち夜空の星の様なまちづくりに進めていくことが最善策と考え目標にしています。

現在、阪急阪神ホールディングスからイベントの依頼も受けており、行政との連携ばかりでなく、今後は民間との連携も強化していくことが繋がりを広くしていくことになると考えています。

歴史的建造物を「まもりそだて つたえる」ことが「阪神文化財建造物研究会」の目標なのです！(訪問者 久保)

# 現役ランナーが作る 温もりのあるマラソン大会



1982年発足以来35年  
心のこもった大会を年間「五大会」運営。  
2016年NPO法人へ



NPO 法人

## 武庫川スポーツクラブ

理事長 官浪 伸次

連絡先

〒663-8183 西宮市里中町1-1-19-101

TEL: 090-6673-2595 (白石)

FAX: 072-770-2862

Mail: info@mukogawa-sc.com

URL: http://www.mukogawa-sc.com



武庫川の河川敷を練習場所にランニングを楽しむ人たちが、自然に集まったのが始まり。1982年に組織として規約を作り、営利を目的としないランニングクラブとして発足。以後、クラブの組織と活動を充実させながら35年。2016年にNPO法人設立。今回、理事長の官浪さんにお話を聞きました。

—NPO 法人設立に至るまで

35年前、毎月1回皆で走るう！がきっかけで生まれたロード記録会は、今も毎月実施、毎回150〜200人が参加します。それ以外に年間5つの大会「武庫川新年走ろう会・武庫川ユリカモウルトラ70kmマラソン・よるカモメ武庫川12時間走・武庫川くすのき駅伝・ユリカモメマラソンin武庫川」を主催。なかでも「ユリカモメウルトラ70km」には全国から1000人ほど集まる人気の大会です。規模やお金の流れも大きくなり、これからのクラブの役割と将来を見据えNPO 法人設立に至

—運営の実際

「大きな大会では、70〜100名のボランティアを含むスタッフが動いています。前日のテントの設営から当日の準備・片付けに至るまで全てスタッフ手作りです。地域の子どもたちを対象に開催している『小学生1kmランニング』では、小学生以下も

—大切にしていること

「主催者自身が現役ランナーでもあり、細やかな心配りを尽くして大会を運営しているのでも、『おもてなしの力が強い』と自負しています。例えば、給水所にイチゴを置いたり女性の完走者に花を渡したりなど、走っているからこそランナーの気持ちかわかり、それが参加者に愛されながら長く発展している要因だと思えます。雑誌『ランナーズ』選考『全国ランニング大会100選』にも選ばれるわけですね。



「自身のレースの経験談を話される時の輝きが印象的で、この法人の活動を通して多くの市民が気軽にランニングを始め、慢性的な生活習慣病や精神的ストレスを解消するきっかけになるのでは！と今後の発展が楽しみです。（訪問者 柚木・池田）」

—取材で感じたこと

理事長の官浪さんを始め会員の皆さんが本心に走る事が好きで、その情熱がこれほどの数の大会運営とまたクラブが35年続いている秘訣だと納得しました。

「まず、視覚障害ランナーの伴走システムを完成させたいです。伴走スタッフを増やすことが必要です。また、初心者がマラソンを走れるようになるまで導いていくのも役割だと考えています。そして、将来のアスリートとして期待される子どもも育成も行っていきます。NPO 法人になったことで、県をはじめ各所からの依頼で、大会運営全般を任されることもあります。公的機関からの認知度も高まったことで、益々連携を深めながら発展していきたいと考えています。」

—今後の展望・目標

「親と一緒に走り、親子でも楽しめるレースになっていきます。そこから走る楽しさ・スポーツの面白さに目覚め、未来のアスリートを目指してくれることも楽しみです。」

**西宮市内のNPOが大集合！  
遊んで学べるフェスティバル！**

入場無料 **NPO**  
**フェスティバル**  
**2018**

**2018.3.24(土)**  
**10:00～16:00**

場所：**六湛寺公園**（小雨決行）  
西宮市役所の東側

遊ぶ

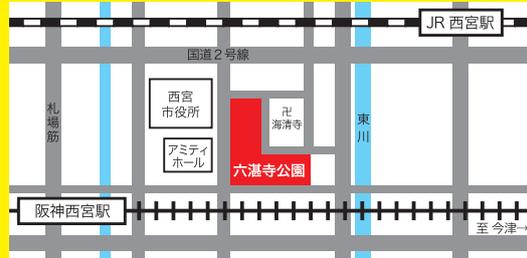
食べる

体験

学ぶ

[六湛寺公園周辺地図]

お問合せ：NPO等公益活動市民団体啓発事業実行委員会事務局（西宮市民交流センター内）  
TEL 0798-65-2251 E-mail info@shimin-koryu.net  
主催：西宮市、NPO等公益活動市民団体啓発事業実行委員会 協力：さくら FM78.7MHz  
聴覚障がいの皆さまにも楽しんでいただけるよう、手話サポートの窓口を設置しております（ブース No.21）



### 今回「みやしるべ」の取材協力を 表明していただいた団体の皆様へ

（提携先団体を除く）

昨年春に、西宮市内のNPO等公益活動の市民団体の皆さんにアンケートを送りましたところ、多数の団体から「みやしるべ」の取材に「協力できる」との回答を頂きました。誠にありがとうございます。しかしながら紙数の関係もあり今回は、過去に一度も紹介できていない団体を優先して選択し、取材・掲載致しましたことをどうかご了承願います。引き続き、次号においても皆さまからの積極的なご協力をお願い申し上げます。

《本誌はNPO等公益活動市民団体啓発事業実行委員会の広報部会メンバーにより作成されました》  
西宮いきいき塾：立田、NPO法人西宮市マンション管理組合ネットワーク：広尾、NPO法人障害者生活支援センター遊び雲：廣田、NPO法人兵庫県障害者タンDEMサイクリング協会：横井、NPO法人こころ・からだ研究所：久保、ふるさとひょうご創生塾阪神マイスターズ：三戸、NPO法人すこやか女性プロジェクト：池田、NPO法人コミュニティ事業支援ネット：柏本、NPO法人武庫川スポーツクラブ：白石（編集責任者）